

平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価委員会議事録

日 時 平成 27 年 12 月 2 日 (水) 13 時 00 分～14 時 20 分
場 所 坪内学園 1 号館 6 階大会議室
委員定員 14 名
出席委員 12 名
委員以外の出席者 永島一雄、今岡克己、大田忠司、吉川寛樹、木村和夫、小島克己、
瀬戸口彩、萬代幸次、堀浩太郎、松浦良二、持田幸治、持田朝子
坪内孝満 (理事長)、林京子 (校長)、伊藤優作 (ブランドマネージャー)、
北川哲也 (公務員学科リーダー)、渡辺純 (動物学科リーダー)、
岡田隆宏 (高度情報学科リーダー)、槇野隆行 (教務部長)、
米村尚子 (事務長)

議 題 平成 27 年度目標に対する中間状況について

議事の経過及び結果

永島委員長、坪内理事長および林校長の挨拶の後、永島委員長により議事が進められた。

議事の審議経過及び賛否の結果は以下の通りである。

平成 27 年度 分掌目標に対する中間状況について：

- ・伊藤ブランドマネージャーおよび各学科リーダーにより、平成 27 年度 各分掌目標に対する中間状況について説明がなされた。

質問および意見

- ・現代ビジネス学科の早期離職率 0 % という到達目標についてどこまで追跡するか。
- ・公務員学科の希望者はどういう職種の公務員を目指しているのか。
- ・公務員試験不合格者は、そもそも本人の希望で入学したのか、保護者の意向なのか。保護者の意向ならば、この合格率では苦情が出るのではないか。
- ・国家公務員試験に合格者を増やすようにすることも大切ではないか。まずは、1 次のペーパー試験を頑張らせる。
- ・高度情報学科について、IT 業界は学歴よりも資格だという方針にしているので、ぜひ資格取得を頑張って欲しい。また、就職説明会では、有名大学へ目が行ってしまうので損である。そんな厳しい場へ学生を行かせるより、学内へ見に来てもらう場を作ると良い。
- ・日本語学科の 4 月生募集状況について、もと もとドンズー 1 校としか契約していなかったのか。

- ・学生募集減は高校 3 年生の人数減とのバランスではどうか。他校の情報収集をしているか。実際の高校現場の状況を教えて欲しい。
- ・少子化や高校生の就職率向上の影響もある。
- ・受験票が試験の 2 日前に届いたが、そういうこともマイナスの口コミになっているのではないか。

※お気づきになった問題点、改善策、希望・要望、業界の情報等を記入したものを 12 月 18 日締めでご提出いただくことを確認し、定刻通り終了した。

以上の議事を証する為、議長及び議事録署名人において記名押印する。

平成 27 年 12 月 2 日

学校法人坪内学園 が門 学校 松江総合ビジネスカレッジ 学校関係者評価委員会

議 長

永島一雄 

署名委員

萬代幸次 